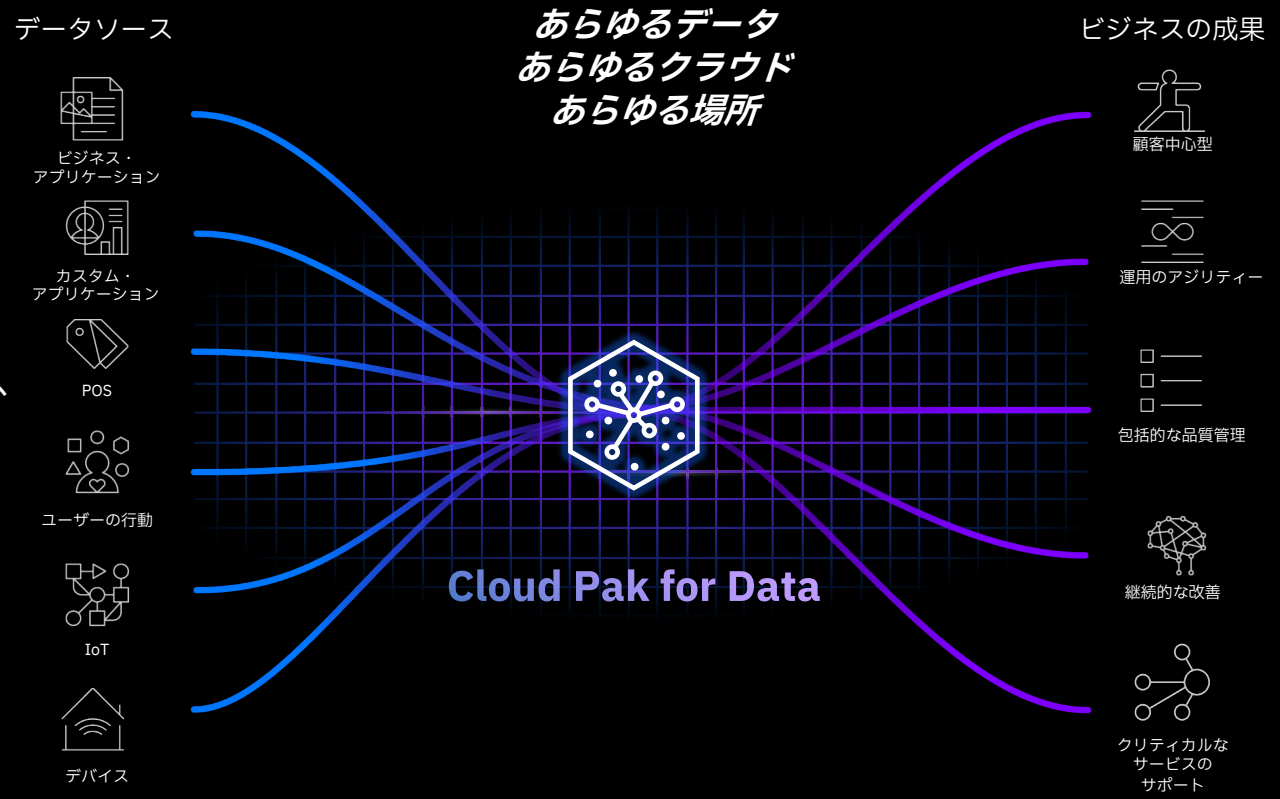
Cloud Pak for Dataで実現するIBMデータファブリック

分散型データ・ランドスケープにおける AI 駆動型の自動化と拡張

- 既存のアーキテクチャを使用しながら、データの複雑性を排除
- あらゆる場所のあらゆるデータを接続し、理解し、保護しながら提供
- 一元的なデータとAIのライフサイクルを確立



© 2021 IBM Corporation

IBM Cloud Pak for Data

企業内の情報アーキテクチャを確立し、データプラットフォーム構築を
包括的に支援するクラウドネイティブ・ソフトウェア

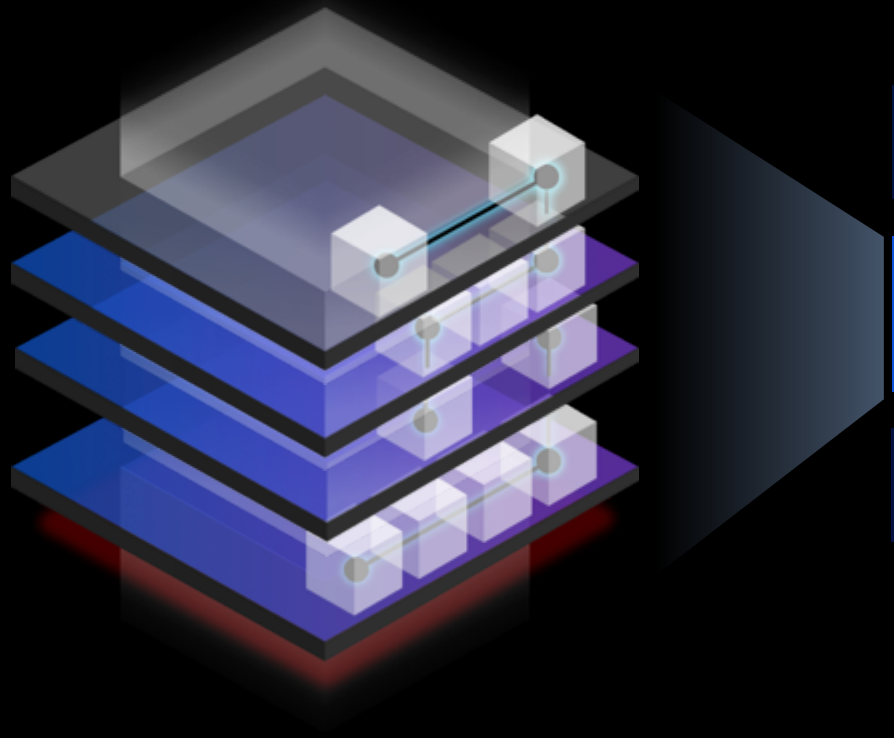
データ活用・AI活用に必要な全てを、どんな環境でも

Infuse

Analyze

Organize

Collect



ビジネスユーザーが利用する
アプリケーションも提供

包括的な情報アーキテクチャのデザイン
全ての機能に関する一貫した体験

ハイブリッドクラウドのサポート
ベンダー / インフラ/ データソース

IBM **Cloud**　他社クラウド　オンプレミス

© 2021 IBM Corporation

Cloud Pak for Dataの提供コンポーネント

ベースコンポーネント（Foundational Service）

拡張サービス(Extended Service)

INFUSE
適用する

- Planning Analytics
- Cognos Analytics 可視化
- Watson Assistant
- Watson Discovery
- Watson Speech Services

ANALYZE
活用する：分析

- Watson Studio 分析
- Cognos Dashboards ダッシュボード
- Watson OpenScale
- Watson Financial Crimes Insight
- Watson Machine Learning 実行環境
- Guardium (integration component)
- IBM Streams
- Anaconda Repository
- Analytics Engine Powered by Apache Spark 分析環境

ORGANIZE
整える：編成

- Watson Knowledge Catalog データ品質・ガバナンス・カタログ
- Match360 with Watson
- DataStage データ統合
- Information Server
- Knowledge Accelerators
- Master Data Management

COLLECT
つなぐ：収集

- Data Virtualization 仮想化
- Db2 Warehouse 蓄積
- Db2 Big SQL
- Db2 AESE 蓄積
- Netezza Performance Server 蓄積
- Db2 for z/OS Data Gate 蓄積

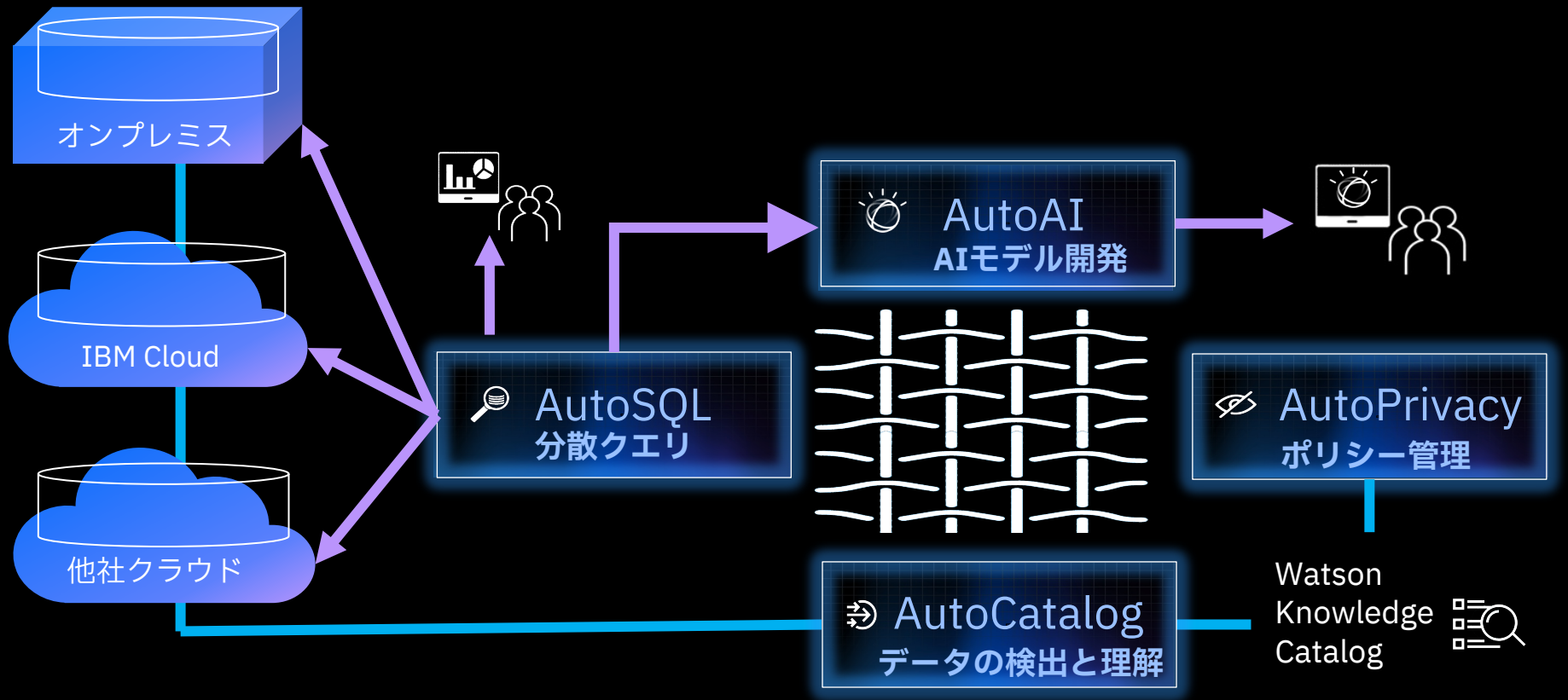
Red Hat OpenShift
restricted use

MODERNIZE
インフラ管理 (K8s & Common services)

監視 | アクセス制御 | 運用管理

© 2021 IBM Corporation

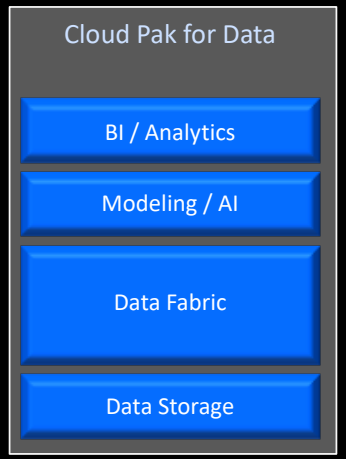
インテリジェント・データ・ファブリックを実現する Cloud Pak for Dataのキーテクノロジー



© 2021 IBM Corporation

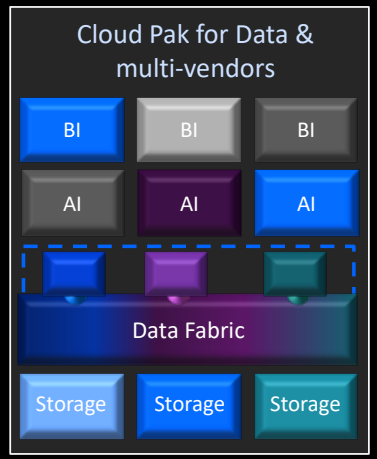
既存データアーキテクチャに対するIBMのデータファブリックソリューションの組み込み

Cloud Pak for Dataをベースとしたフル統合スタックを構築



Cloud Pak for Dataに他ベンダーのツールを連携

Cloud Pak for Dataに他ベンダーのツールを連携し、かつ階層化したカタログを持つ



© 2021 IBM Corporation

データファブリック事例 – 欧州の金融機関 –

ローカル・データレイクのレプリケーションを各国でコピーして使用する方法ではなく、ガバナンスを効かせたデータ・メッシュのアクセスとメタデータに基づくセキュリティー層を使用する方法に移行しています

現在の課題

→ 複雑な物理アーキテクチャーとデータ・チェーン

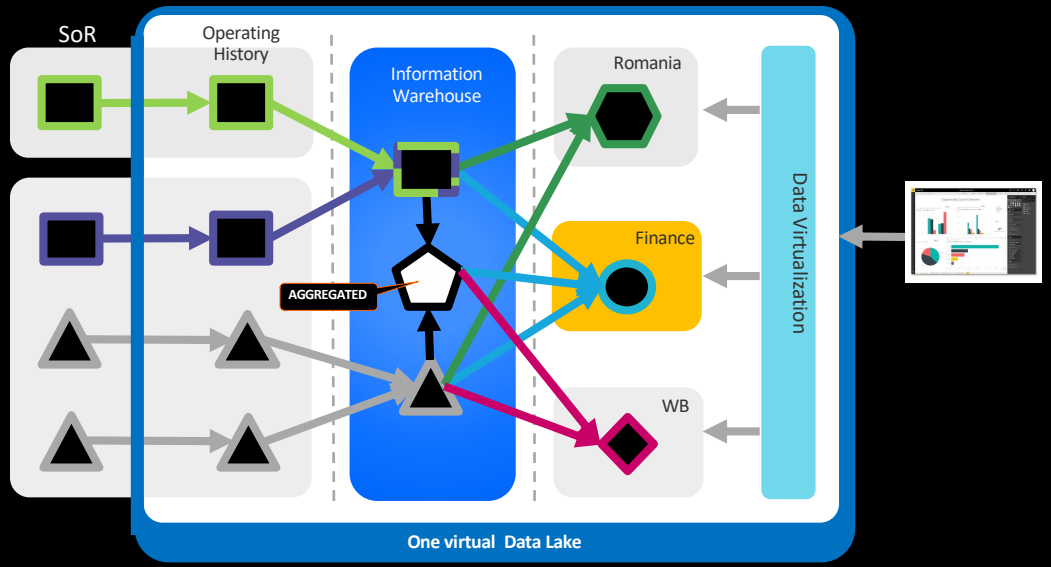
→ 複数のデータレイクのメンテナンスに伴う複雑性

→ 国からグローバルへのマッピングに伴う複雑性

データ・ファブリックのメリット

→ 複数のエンドポイントとクラウドにわたる、ガバナンスを効かせた単一のアクセス・パターン

→ データの意味にのみ基づいて、物理ロケーションから独立したデータへのアクセスを提供



© 2021 IBM Corporation

データファブリックのビジネス上のメリット

技術部門にとってのメリット

→ データを削減できることにより、データ品質標準を維持するための労力を削減

→ 統合されたデータ管理ツールにより、インフラストラクチャとストレージのコストを削減

→ データ・フローの最適化により、データのデリバリー・プロセスを迅速化・簡素化

→ データ・ポリシーのグローバルな自動適用により、データのアクセス管理にかかる労力を削減

事業部門にとってのメリット

→ 高品質なデータに簡単にアクセスできることにより、より素早く正確な洞察を獲得

→ セルフサービスでのスムーズなデータ取得

→ データの検索や準備にかける時間を削減できることにより、分析にかける時間を増加

→ データが制限されることにより起こる、バイアスを含む分析を回避

→ アナリティクスをフルに活用しつつ、コンプライアンスとセキュリティを向上

© 2021 IBM Corporation

IBM Cloud Pak for Data as a Service

- Cloud Pak for Dataのフルマネージドサービスであるcloud Pak for Data as a Serviceを無償版サービスや有償版サービスと共にお試しいただけます。

始めてみるには...

今すぐ使ってみる →

をクリックしてください！

https://ibm.biz/CP4DaaS

© 2021 IBM Corporation

Thank you

© 2021 IBM Corporation